

授業科目名	中国語コミュニケーション	単位数	2
担当教員名	張 悦	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概をもつこと。			
授業の到達目標及びテーマ (1) 中国語のピンインの書き方と発音を身に着ける。 (2) 日常使用頻度の高い漢字を300字程度習得する。 (3) 基本文型と簡単な文法を理解し習得する。 (4) レベルに応じたやさしい文章の読解ができる。 (5) 日常の挨拶と簡単な会話をすることができる。			
授業の概要 本講義は中国語コミュニケーションを設け、一年の学習を通じて、中国語の発音をマスターし、中国語の基礎文法を理解し、初級レベルの短文を読解でき、中国人と初歩的なコミュニケーションができるように指導、訓練する。そして中国語学習を通じて、中国の文化、風俗、習慣及び中国人の考え方を知ってもらい、中国旅行や中国人との交流に少しでも役立ててもらいたい。さらに草の根の交流によって、お互いに理解しあうことができ、友好的に付き合うために個人個人の些細な力を添えることを期待している。			
授業計画 第1回：中国語のローマ字表記法であるピンインを理解し、声調、単母音、複合母音を発音できるようにする。 第2回：鼻母音、子音を発音できるようにし、声調の変化、ピンイン表記の決まりをマスターする。 第3回：人称代名詞、“是”の文、名乗り方や日常の簡単な挨拶を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第4回：指示代名詞、動詞の文等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第5回：形容詞述語文、副詞の使い方等を理解し、会話の文を読解できるようにする。 第6回：場所指示代名詞、「在、有」（存在の文）の使い方を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第7回：「所有」を表す“有”を理解し、数詞、量詞等を覚え、会話の文章を読解できるようにする。 第8回：方式・方法などを表わす連動文等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第9回：中国お金の数え方を覚え、強調構文の“是～的”や比較文等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第10回：完了を表わす“了”、前置詞“给”等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第11回：「年月日、曜日」等の言い方を覚え、目的を表わす連動文等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。 第12回：時間、時刻の言い方等を覚え、前置詞の使い方や結果補語等を理解し、会話の文章			

を読解できるようにする。

第13回：経験を表す“过”、願望の助動詞“要”等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。

第14回：程度補語“得”、許可を表す“可以”等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。

第15回：“要～了”の康文、助動詞“爰”等を理解し、会話の文章を読解できるようにする。

定期試験

テキスト

(1) 張 作義他(2015)『ベーシック中国語 改訂版』郁文堂

参考書・参考資料等

『中日辞典』（特に指定はしない、電磁辞書も可）

学生に対する評価

レポート評価（50％）、科目修得試験（50％）を総合して評価する。